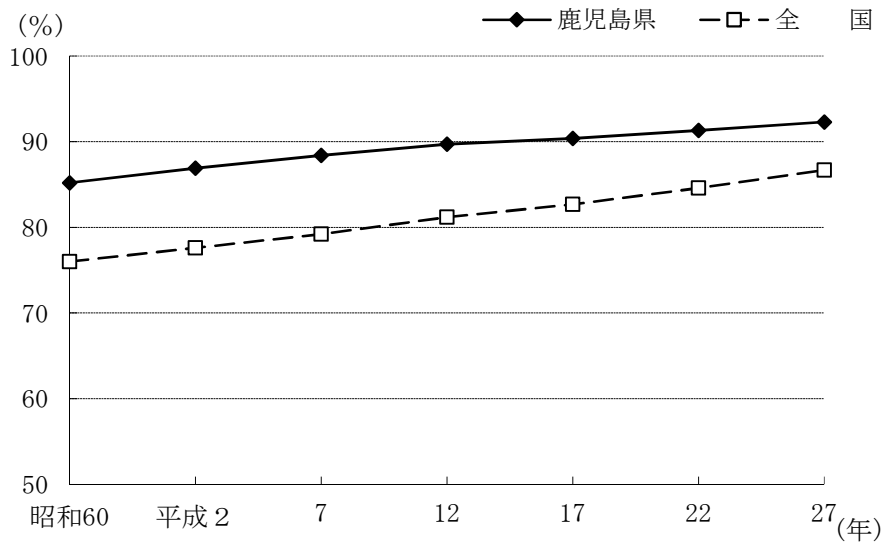


第2章 家庭

1 核家族の状況（親族世帯に占める核家族世帯の割合の推移）



(単位：%)

年	昭和60	平成2	7	12	17	22	27
鹿児島県	85.2	86.9	88.4	89.7	90.4	91.3	92.3
全 国	76.0	77.6	79.2	81.2	82.7	84.6	86.7

資料：国勢調査

平成27年の親族のみの世帯に占める核家族世帯の割合は92.3パーセントで、昭和60年に対して7.1ポイント高くなっている。

2 ひとり親世帯の状況

(1) ひとり親世帯（鹿児島県）

(単位：世帯)

年	平成2	7	12	17	22	27
母子世帯(a)	10,785	10,385	11,720	13,301	13,942	13,746
父子世帯(b)	1,975	1,825	1,949	1,950	1,689	1,641
計(a+b)	12,760	12,210	13,669	15,251	15,631	15,387

総務省「国勢調査」

本県のひとり親家庭（母または父と19歳以下の未婚の子どもの世帯）は、平成27年で、15,387世帯であり、前回調査時の平成22年と比較し1.6%減少しています。

(2) ひとり親家庭の子どもの数（鹿児島県）

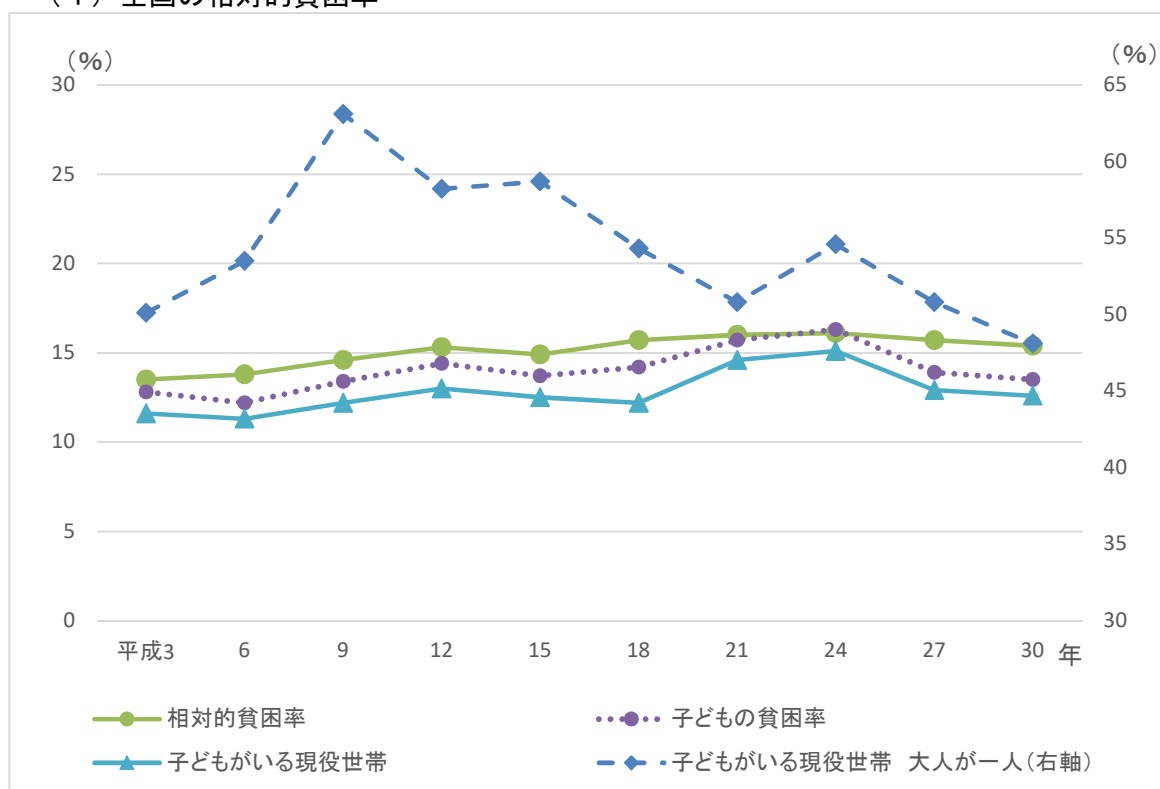
年	平成12	17	22	27
母子世帯の人員数(人, a)	31,703	36,071	37,336	36,780
母子世帯数(世帯, b)	11,720	13,301	13,942	13,746
母子世帯の子どもの数 (人, c=a-b)	19,983	22,770	23,394	23,034
父子世帯の人員数(人, d)	5,112	5,145	4,393	4,230
父子世帯数(世帯, e)	1,949	1,950	1,689	1,641
父子世帯の子どもの数 (人, f=d-e)	3,163	3,195	2,704	2,589
ひとり親世帯の子どもの数 (人, c+f)	23,146	25,965	26,098	25,623

総務省「国勢調査」

本県のひとり親家庭の子どもの数（ひとり親家庭の人員数からひとり親家庭の世帯数を差し引いた推計値）は、平成27年で、25,623人となっており、前回調査時の平成22年と比較し、1.8%減少しています。

3 経済状況（子どもの貧困）

(1) 全国の相対的貧困率



年	平成3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
相対的貧困率 (%)	13.5	13.8	14.6	15.3	14.9	15.7	16.0	16.1	15.7	15.4
子どもの貧困率 (%)	12.8	12.2	13.4	14.4	13.7	14.2	15.7	16.3	13.9	13.5
子どもがいる現役世帯 (%)	11.6	11.3	12.2	13.0	12.5	12.2	14.6	15.1	12.9	12.6
大人が一人	50.1	53.5	63.1	58.2	58.7	54.3	50.8	54.6	50.8	48.1
大人が二人以上	10.7	10.2	10.8	11.5	10.5	10.2	12.7	12.4	10.7	10.7
中央値 (万円) (a)	270	289	297	274	260	254	250	244	244	253
貧困線 (万円) (a/2)	135	144	149	137	130	127	125	122	122	127

厚生労働省「令和元年度国民生活基礎調査」

(2) 生活保護世帯の子どもの数 (鹿児島県)

年		平成26	27	28	29	30
0~19歳	被保護人員(a)	4,320人	4,063人	3,820人	3,538人	3,417人
	対前年増減	-4.6%	-5.9%	-6.0%	-7.4%	-3.4%
総数	被保護人員(b)	32,108人	31,730人	31,260人	30,776人	30,429人
	対前年増減比	-0.9%	-1.2%	-1.5%	-1.5%	-1.1%
19歳以下の構成比(a/b)		13.5%	12.8%	12.2%	11.5%	11.2%

※ 各年7月31日現在の人員 (平成30年度は暫定値)

厚生労働省「被保護者調査」

(3) 生活保護世帯の子どもの進学率, 就職率 (鹿児島県)

年			平成26	27	28	29	30
中学校 卒業後	進学	生活保護世帯	93.2%	95.5%	86.6%	93.5%	94.0%
		県全体	99.0%	98.9%	99.2%	99.1%	99.1%
	就職	生活保護世帯	1.9%	1.4%	1.0%	0.4%	0.4%
		県全体	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%
高等学校 等卒業後	進学	生活保護世帯	28.6%	32.4%	24.4%	27.9%	24.7%
		県全体	70.1%	70.2%	70.6%	70.1%	69.4%
	就職	生活保護世帯	54.2%	52.9%	57.4%	50.6%	68.0%
		県全体	27.9%	27.5%	27.3%	27.1%	28.2%

※ 生活保護世帯については厚生労働省社会・擁護局保護課調べ, 県全体については文部科学省「学校基本調査速報値」を基に算出

※ 進学は, 専修学校, 各種学校, 公共職業能力開発施設等へ進学したものを含む。

(4) 経済状況に伴う影響（「かごしま子ども調査結果」（H29））

A類世帯：等価可処分所得が中央値の2分の1（122万円）未満の世帯

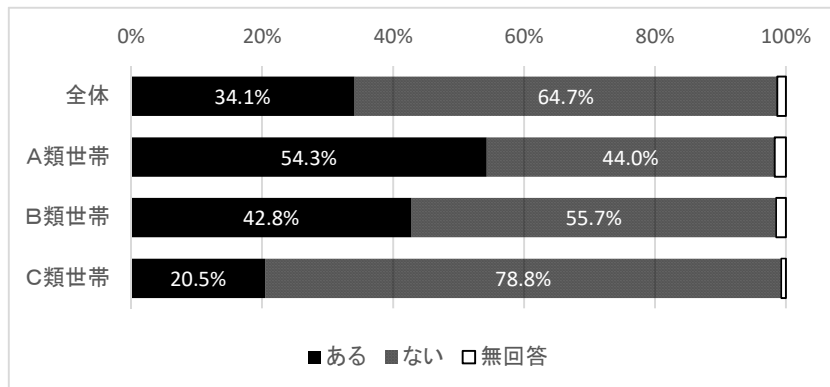
B類世帯：等価可処分所得が122万円以上244万円未満の世帯

C類世帯：等価可処分所得が中央値（244万円）以上の世帯

※ 等価可処分所得：世帯の可処分所得（就労所得，財産所得，仕送り等，公的年金，その他の現金給付）を世帯人員の平方根で割って調整した額

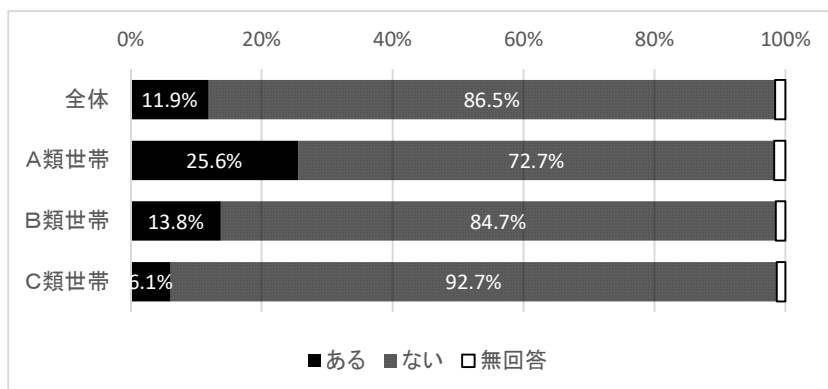
① 学習機会の確保

（経済的な理由により，子どもの学習意欲に応えられなかったことがあるか）



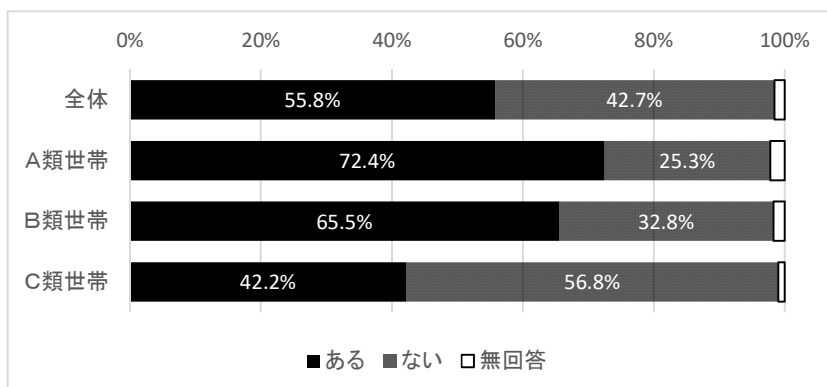
② 進路に対する不安（子ども）

（子どもが，経済的な理由により，自らの進路に不安を抱いている様子はあるか）



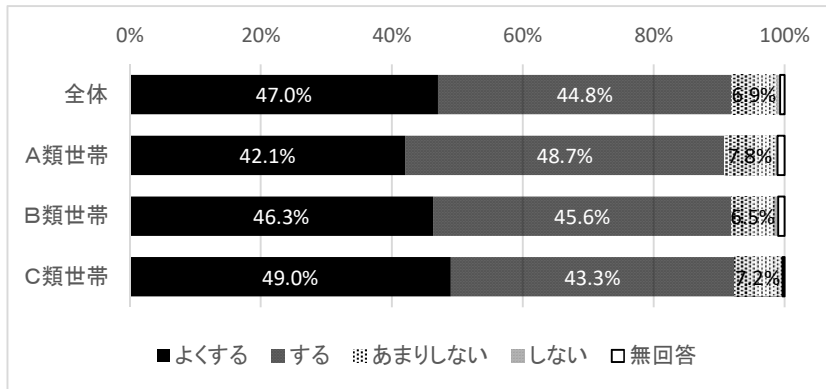
③ 進路に対する不安（親）

（経済的な理由により，子どもの進路に不安を抱いたことはあるか）



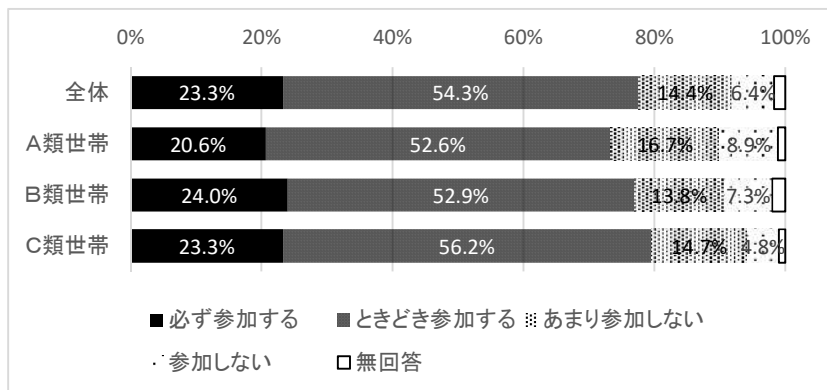
④ 子どもとの会話

(子どもと学校での出来事や友達のことについて、会話をするか。)



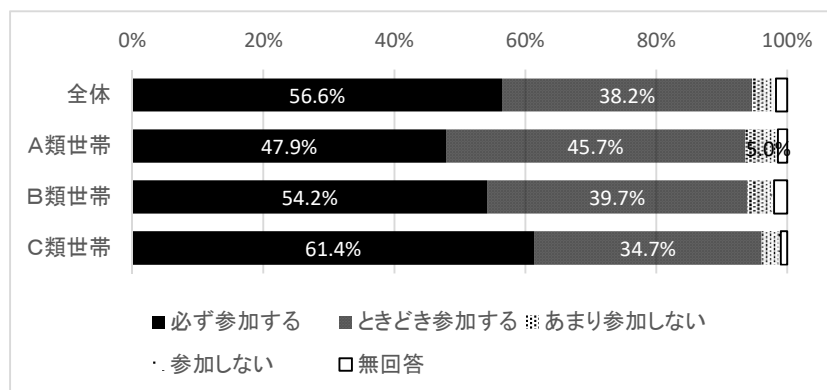
⑤ 地域行事への参加

(「地域の行事」に参加しているか。)

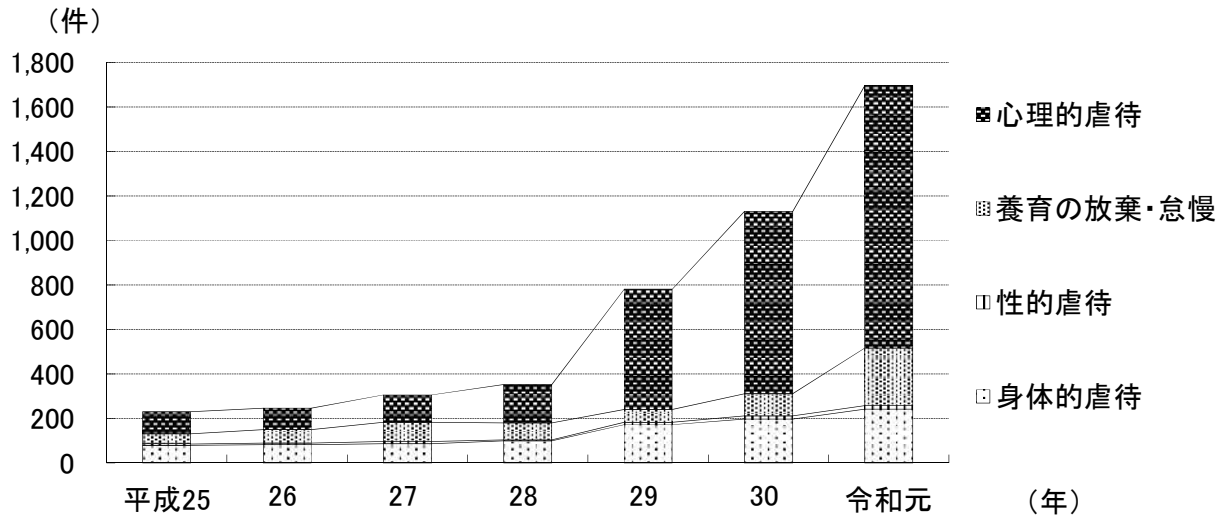


⑤ 学校行事への参加

(「学校の行事」に参加しているか。)



4 児童虐待の状況



(単位：件)

項目 \ 年度	平成25	26	27	28	29	30	令和元
身体的虐待	79	83	87	100	173	198	242
性的虐待	7	6	10	3	10	14	16
養育の放棄・怠慢	45	61	86	77	58	100	258
心理的虐待	100	97	123	172	540	819	1,180
計	231	247	306	352	781	1,131	1,696
全 国	73,802	88,931	103,286	122,575	138,778	159,838	—

(2) 主たる虐待者の状況

(単位：件)

年 度	平成25	26	27	28	29	30	令和元
実父から	101	68	89	124	443	664	807
実父以外の父親から	26	15	35	39	79	107	127
実母から	91	139	152	176	216	314	683
実母以外の母親から	2	0	4	2	4	0	3
その他から	11	25	26	11	39	46	76
計	231	247	306	352	781	1,131	1,696

(3) 被虐待児の年齢

(単位：件)

年 度	平成25	26	27	28	29	30	令和元
3歳未満	30	47	43	51	183	249	325
3歳～学齢前児	39	46	56	87	150	216	371
小学生	97	85	119	124	274	403	601
中学生	42	40	55	53	105	154	234
高校生・その他	23	29	33	37	69	109	165
計	231	247	306	352	781	1,131	1,696

資料：子ども家庭課（県中央児童相談所，大隅児童相談所・大島児童相談所業務概要
鹿児島県における子ども虐待の実績）